

## ソコモアジャパン

# フランスの表面加工、塗装、接着技術提供企業 市内企業との協業で工業需要を拡大

ソコモアジャパンは、フランスのヴァンヌに本社を構えるソコモア社の日本法人として、航空機の表面処理剤や米国MIL規格の特殊塗料、橋梁用塗膜剥離剤などの化学製品を輸入・販売しています。ソコモアジャパンは、2018年8月に横浜市へ進出し、これまでは海外から調達した橋梁・航空機用の剥離剤を国内で販売してきました。IDEC横浜の外資系企業定着支援事業の活用により、23年9月に市内企業を委託生産先とする契約を締結しています。



話し手：小林 央社長



同社のクリーナー

### ■橋梁から航空機、工業用途へ

航空機の機体に塗られた塗料は通常、6～7年おきに塗り直されます。紫外線などの影響で塗装が痛むことや、表面に汚れが溜まりすぎると摩擦抵抗が高まり、燃費が悪くなるためです。当社は、航空機の塗装を直す前に、化学的処理によって塗装を剥がすための剥離剤を製造・販売しています。

一方で、国内にある橋梁は1970～80年代に作られたものが多く、当時は防錆塗料の下地に鉛、塗料にはPCB（ポリ塩化ビフェニル）系が使われていました。10年ほど前にこれらの塗料が問題となり、航空機用剥離剤を改良し、橋梁補修用製品を提供するようになりました。

新型コロナウイルス禍以降は、世界的な原材料価格や輸送費の高騰を受け、物流コストやCO<sub>2</sub>排出量の削減が課題となりました。そこで当社も22年の11月に、日本国内に製造拠点を確保することを検討し始めたのです。

### ■横浜市内の化学品メーカーとマッチング

橋梁用・航空機用の表面処理化学品（剥離剤）などについて、私は国内での受託生産先を模索していました。新横浜に立地する当社は、IDEC横浜が実施する、企業間マッチングを行う「ものづくりコーディネート事業」を活用することにしました。コーディネーターによる横浜企業の紹介などのサポートを受け、面談を重ねた結果、日本における剥離剤の生産委託先として横浜油脂工業様がパートナーとなっています。剥離剤などの試作を経て、9月

に剥離剤の生産に関する契約に至りました。販売にあたっては日本企業とパートナーシップを結んでいます。

生産委託先の候補は県外を含めて数社ありましたが、横浜油脂工業様は当社の要望を満たす剥離剤を生産できる技術を保有していることが分かりました。横浜油脂工業様も同じ横浜市内の企業であることから、お互いに行き来がしやすく、密にコミュニケーションが取れています。

### ■日本メーカーからの改善提案は魅力的

私自身は、国内通信機器メーカー勤務後、欧州化学メーカーにも15年勤務して、化学の品質管理に必要なことも含め国内企業との協業に携わってきました。今回、横浜油脂工業さんとの協業で感じているところは、品質管理がしっかりしていることや自ら進んで改善しようというマインドです。工程の見直しなどについて、積極的に提案してもらえることも魅力的です。納期厳守の意識も、日本メーカーの特徴ではないでしょうか。

立地面では、新横浜のロケーションは最高です。新幹線で名古屋までは1時間半で着きますし、羽田空港へのアクセスも良いです。また、東京駅ほど駅周辺が混んでおらず、通勤にも便利です。もともと横浜は外資系に開かれた土壌があり、コロナ禍前は、企業交流会にも、たびたび参加していました。

当社の日本における事業展開としては、航空機向けや工業用途で需要拡大を見込んでいます。協力工場を確保して国内の生産体制が整ったことから、今後は次代の経営人材を育てていくことも課題です。

（取材日：2023年10月）

## 株式会社ソコモアジャパン

所在地：横浜市港北区新横浜2-3-3 新横浜ウェストビル701

代表者：小林 央

設立：2002年2月

事業概要：航空機の表面処理化学品(剥離剤)及び特殊塗料の輸入販売